

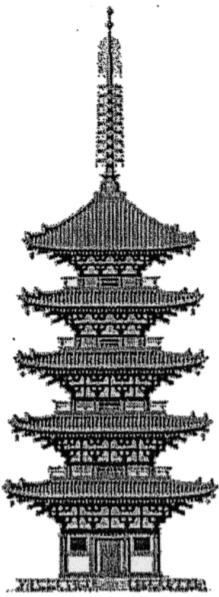
# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。十月も後半に入り、朝晩は肌寒くなりました。くれぐれもご自愛ください。  
**寺院数日本一は愛知県**ですが、今日は**神社**についてお伝えします。

## ★神社数日本一は新潟

寺院と神社を総称して**寺社仏閣**というように、両者は混交した存在です。全国津々浦々、身近な場所に寺院と神社の双方があるのが日本です。文化庁「宗教年鑑(令和元年版)」に基づくと、全国の神社数は八〇九八三、神道系宗教団体数は八七四九七です。

都道府県別の**神社数最多は新潟**の四七〇六、以下兵庫、福岡、愛知、岐阜の順です。

一方、最少はやはり沖繩の十五。次いで、少ない順に和歌山、宮崎、大阪、山口です。人口も多く、縁起を担ぐのが好きそうな大阪に神社が少ないのは意外です。

新潟は実数では日本一をずっと維持しています。なぜそんなに多いの

でしょうか。最大の理由は、**新潟の人口はかつて日本一**だったという意外な事実です。

一八八八年(明治二十一年)の国勢調査では、新潟の人口は一六六万人で最多。二位は兵庫の一五一人、三位は愛知の一四四万人。東京は一三五万人で愛知に次ぐ四位です。続く一八九三年(明治二十六年)の調査でも、新潟はさらに増えて一七一人で一位を維持しています。

人口が多いうえに、新潟では集落ごとに神社があります。農業地域で自然の恵みを意識せざるをえない新潟では、自ずと神社の数が多くなつたのかもしれない。

ちなみに、**寺院と神社の合計**で見ると、**愛知が七九一六で一位**、新潟が七四八五で二位。**両県で日本全国の寺社の九・八パーセント、約一割を占めます。**

## ★神仏習合の日本仏教

神社に触れたのは日本仏教の特徴が**神仏習合**、**神仏混交**だからです。寺院が多ければ神社も多いという関係にあります。

日本への仏教伝は通説では五三八年。大陸から伝来した仏教は異文化、外国の宗教であり、それを日本の天皇や朝廷が信仰し、仏を祀ることとはできません。日本には古(いに

しえ)からの**自然崇拜**、**八百万の神々を敬う民族宗教**があり、天皇はその祭司の長、神道の長だからです。しかし、徐々に浸透した仏教は、日本古来の自然崇拜、神道と調和融合します。すなわち、**神仏習合**、**神仏混交**です。

最初は仏教が主、神道が従として混交しました。その結果、奈良時代には神社に神宮寺が建てられるようになり、平安時代に**本地垂迹説**が生まれました。本地である仏や菩薩や天部が、仮の姿である神として人々の前に現れるという考え方です。

本地とは「本来のこと」を意味し、垂迹とは「迹(あと)を垂れる(神仏が現れる)」ことを意味します。たとえば、阿弥陀如来の垂迹は八幡神、大日如来の垂迹は伊勢神、阿弥陀如来の垂迹は熊野神、観音菩薩の垂迹は賀茂神です。

二千五百年前にインドで生まれた仏教が、ヒンズー教やインドの諸神と向き合った際も、中国で仏教が道教と接した時にも、同じような考え方で融合が起きたそうです。

神仏習合の思想と親和的で、積極的に仏教と混交したのは**八幡神**です。東大寺大仏造営に協力した宇佐八幡が典拠例であり、最初に菩薩号がつけられたのも八幡神です。

平安時代には熱田権現、蔵王権現など「**権現**」という考え方を生み、神仏習合、本地垂迹は深まっていきます。仏や菩薩や天部が、人々を救うために仮に姿となって現れる神のことを権現(ごんげん)すなわち「**仮の現れ**」と呼びました。権現の権とは「仮」「臨時」という意味です。

仏教側から神道を理論的に説明する**神道理論**も登場しました。当時の

仏教界の主流であった密教二宗のうち、天台宗の教えを取り入れたのが山王神道、真言宗の教えを取り入れたのが両部神道です。

## ★反本地垂迹説

神仏習合はさらに深化し、神の昇華を祈念して建てられた神宮寺に、逆に鎮守社を設ける風習も現れました。やがて神道側から、神道を主、仏教を従とする**反本地垂迹説**も現れました。室町時代に入ると、如来は天皇の垂迹であると考えられる**吉田神道**や**伊勢神道**などの系譜も生まれました。また、仏教は花実、儒教は枝葉、神道が根本であるとする**根葉花実論**も登場しました。

神道の系譜は仏教以上に多様です。神道、信仰にもそれぞれ系譜があり、それらは相互に複雑に絡み合っています。

神社の上社は、諏訪大社、熊野大社、宗像大社、秋葉神社など、多様です。神道の系譜も、古神道(原始神道)、神社神道、皇室神道、教派神道、民族神道など、十数系統に分かれます。信仰の系譜も、八幡信仰、伊勢信仰、天神信仰、稻荷信仰、熊野信仰、白山信仰、春日信仰、浅間信仰など、多岐にわたります。

## ★西国三十三所

かわら版は四国八十八ヶ所の話から始まりましたが、**二大巡礼は四国遍路と西国三十三所**です。来月は西国三十三所のルーツなどについてお伝えします。乞ご期待。

